

災害撲滅に全力尽くす

士幌町建協が安全大会

安全作業には準備が重要

【帯広発】士幌町建設業協会（加藤邦彦会長）は二十日、士幌町総合研修センターで三十三年度安全大会を開催した。会員や来賓など総勢約六十人が参加。講話などを通じて安全意識の高揚を図るとともに、本年度



の無事故・無災害の達成に向けて決意を新たにしました。

加藤会長は「安全作業ばかりに目を向ける

約60人がゼロ災害の達成を誓い合った

と、大きな事故を引き起こす可能性がある」と指摘。

安全作業の準備として、前日に深酒をしないなど、まずは個人的な環境を整えることが重要と訴えた。

その上で、労働災害・交通災害の撲滅に全力を尽くし「地域から頼りにされる協会となれるよう頑張っていく」と呼びかけた。

来賓の小林康雄町長は、

深刻化する人手不足の問題に言及し、今後は働き方改革や、外国人就労者の受け入れにも対応していくことが求められると説明。また、町における工事の適正な執行への協力を感謝するとともに「大会を契機とし

て、一層の安全確保に努めてほしい」と述べた。

このあと、士幌町役場保健福祉課の担当者が「痛風と肥満」「痛風と食事」と題して講話。痛風の要因やその予防策についてスクリーンを用いて詳細に説明した。このほか、帯広警察署士幌駐在所の島田由樹所長による交通事故防止に関する講義も行われた。

最後に参加者を代表して、士幌電設(株)の田中芳明氏が安全宣言。一同は、本年度も万全な安全対策を講じ、労働災害・交通災害の撲滅を目指すことを誓い合った。